

和水町の家計簿

令和2年度決算

令和2年度一般会計及び特別会計・企業会計の決算が、令和3年9月定例議会で承認されました。町民の皆さんが納めた税金や国・県から交付されたお金がどのように使われ町の財政が運営されているのかお知らせします。

【歳入の状況】

一般会計の歳入は110億5,235万円で、前年度比24億2,057万円（28%）の増加となりました。

新型コロナウイルス感染症対策関連事業に伴う国庫支出金、ふるさと応援寄附金、基金繰入等により歳入は大きく増加しましたが、自主財源である町税のうち町民税は前年度比4,183万円の減少となりました。

歳入の約29%を占める地方交付税のうち普通交付税は、町村合併算定替えにより平成28年度から段階的に縮減しており、縮減前の平成27年度と比較すると3億8,542万円減少しています。

【歳出の状況】

一般会計の歳出は101億574万円で、前年度比25億1,608万円（33%）の増加となりました。

新型コロナウイルス感染症対策事業に係る特別定額給付金支給事業やふるさと応援寄附金謝礼等の支出により補助費等が前年比13億7,152万円と大きく増加しています。

また、令和2年7月豪雨に伴い災害復旧費は、前年度比1億8,874万円増加しました。

【決算状況】

歳入から歳出を差し引いた差引額は、9億4,661万円となり、このうち3億7,887万円は令和3年度に繰り越した事業の財源となります。

町民一人あたりに換算

町民一人に使われたお金 **1,048,966円**

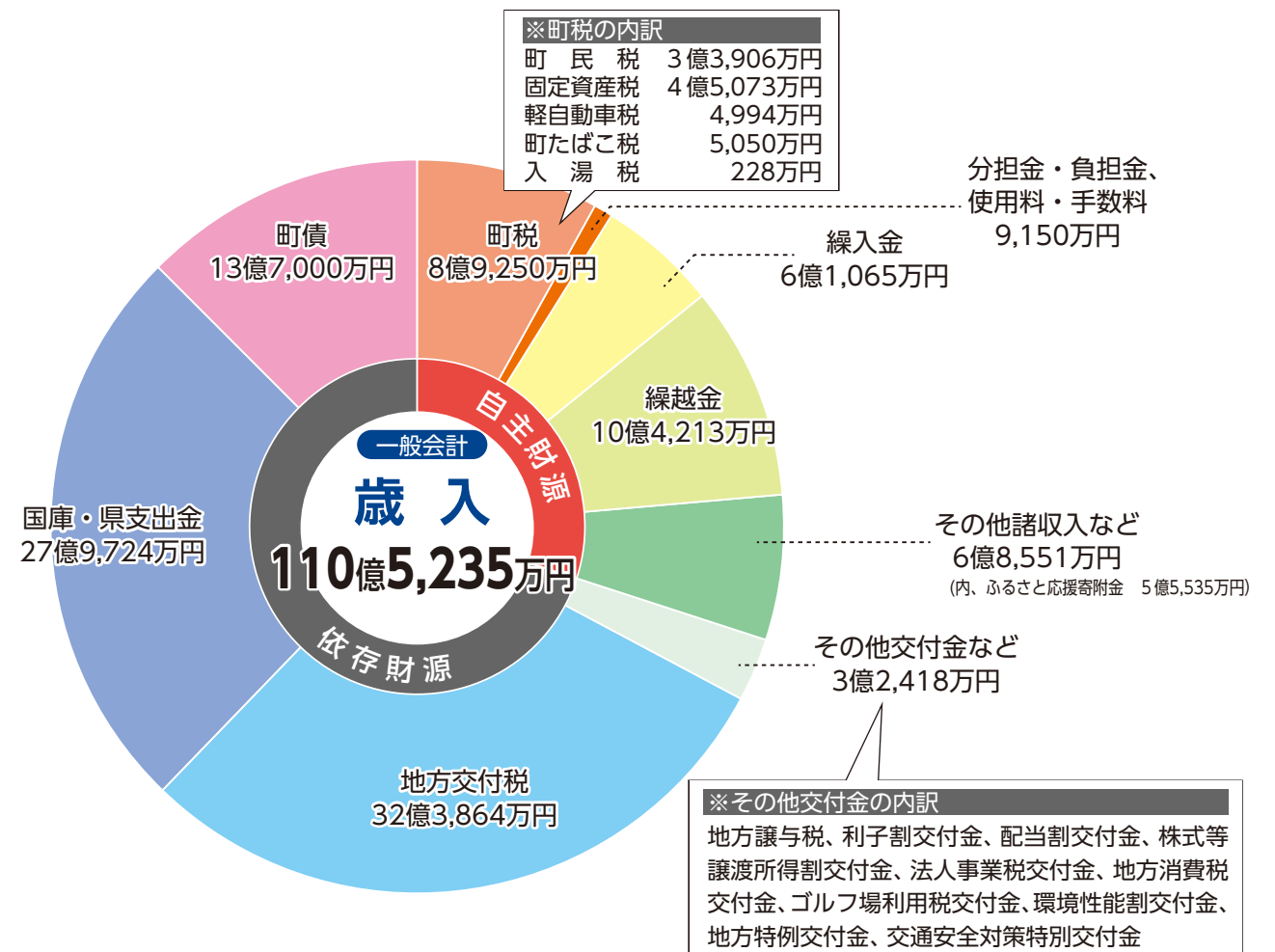
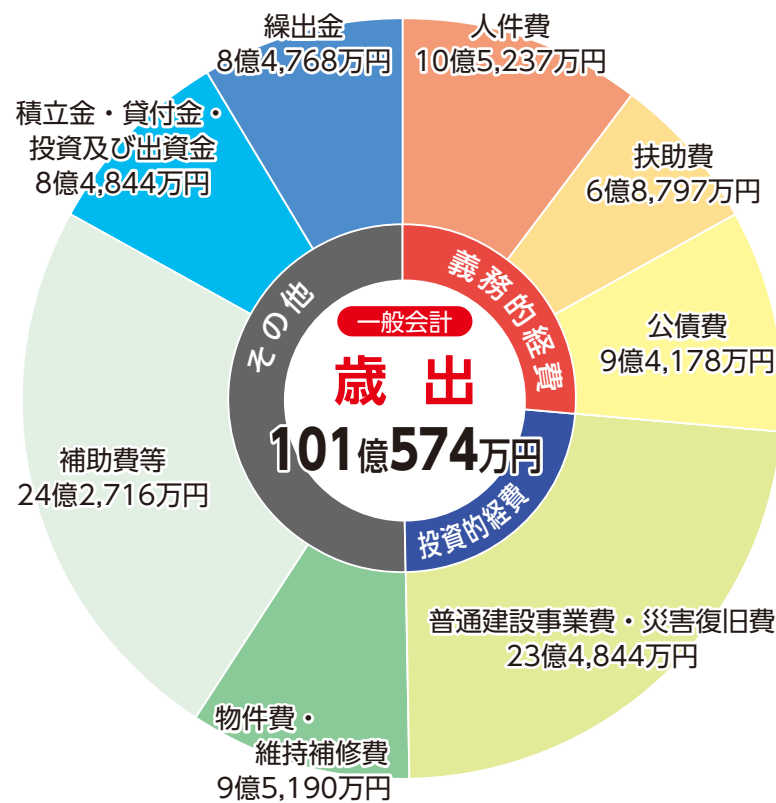
※算出根拠：歳出総額101億574万円÷9,634人≒1,048,966円

町民一人が支払った町税 **92,641円**

※算出根拠：町税8億9,250万円÷9,634人≒92,641円

（人口は令和3年3月末日の人口（9,634人）で算出）

区分	R 2 決算額	町民一人 当たり換算
議会費	7,713万円	8,006円
総務費	28億44万円	290,684円
民生費	18億3,506万円	190,477円
衛生費	9億5,138万円	98,753円
農林水産業費	3億978万円	32,155円
商工費	1億5,693万円	16,289円
土木費	11億2,497万円	116,771円
消防費	4億7,300万円	49,096円
教育費	11億5,068万円	119,439円
災害復旧費	2億8,459万円	29,540円
公債費	9億4,178万円	97,756円
合計	101億574万円	1,048,966円



※町税の内訳	
町民税	3億3,906万円
固定資産税	4億5,073万円
軽自動車税	4,994万円
町たばこ税	5,050万円
入湯税	228万円

※その他交付金の内訳	
地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金	

【用語解説】
一般会計
町の行政運営にかかる基本的な経費を計上した会計

（歳入）

- 自主財源
町が自主的に収入できる財源
- 依存財源
国や県から交付される収入
- 分担金・負担金
特定の事業費の一部を利用者や受益者が負担するお金
- 使用料・手数料
公共施設使用料や各種証明手数料など
- 繰入金
他会計や基金などから移動（繰入）したお金
- その他諸収入など
財産収入、寄附金、諸収入など
- 地方交付税
全ての市町村が一定水準の行政サービスを行うことができるよう国から交付されるお金
- 国庫・県支出金
特定の事業を行うために国・県から交付されるお金
- 町債
特定の事業を行うために借り入れるお金
- （歳出）
- 扶助費
教育、医療、福祉等の社会保障費
- 公債費
町の借金返済に係る費用

- 普通建設事業費
道路、橋りょう、河川や公共施設の建設費
- 物件費
業務委託料、消耗品費、通信運搬費等
- 維持補修費
道路、橋りょう、公共施設などの修繕費
- 補助金等
各種団体への補助金、負担金等
- 議会費
議会運営のために使用する費用
- 総務費
行政運営やまちづくりのために使用する費用
- 民生費
福祉・医療のために使用する費用
- 衛生費
ごみ処理や病気予防のために使用する費用
- 農林水産業費
農林業の振興のために使用する費用
- 商工費
商工業・観光振興のために使用する費用
- 土木費
道路や橋りょうなどのインフラ整備のために使用する費用
- 消防費
消防や災害予防のために使用する費用
- 教育費
学校や生涯学習のために使用する費用
- 災害復旧費
災害時の復旧のために使用する費用